

宇宙作戦群 所属隊員紹介 第9回
第1宇宙作戦隊 M3尉
特技：宇宙
令和5年12月から宇宙作戦群で勤務



インタビュアー

宇宙に興味を持ったきっかけを教えてくださいませんか？

小学校3年生の時、隣の席の子が貸してくれた星空の本を読んで宇宙の虜になりました。サンタクロースにおもちゃの望遠鏡をもらってからは、毎晩月を観察したり、星座を探したりしていました。本格的に宇宙を仕事にしようと思ったのは、高校2年生の時です。JAXAが高校生向けに開催していた「種子島エアロスペーススクール2018」に参加し、宇宙開発の面白さに魅了されました。



M3尉



インタビュアー

M3尉は防衛大学校出身とお聞きしましたが、宇宙関連の専攻ですか？

その通りです。防衛大学校で航空宇宙工学を専攻していました。学生時代は、将来月面で災害が起きた時に活躍する、月面用災害救助ローバーを設計し、全国の大学生向け宇宙イベントに参加しました。また卒業研究では、衝撃吸収性能に優れた月面探査ローバーのタイヤを設計し、その性能を研究しました。



M3尉



インタビュアー

宇宙幹部として勤務するにあたって、学生時代にやっておいてよかったことはありますか？

月面探査ローバーの設計を通じて、宇宙開発の難しさを身をもって学んだことです。画面の前で何時間待っても信号が送られて来なかったり、配線が上手くいかずにショートしてしまったり...。人工衛星が「当たり前」に運用されている今日ですが、開発者・運用者に対する尊敬の気持ちが、「人工衛星を守る」という任務への使命感に繋がっています。



M3尉



インタビュアー

宇宙作戦群に配属してから約1年経ちましたが、印象に残っている経験はありますか？

11月に参加させていただいた、ドイツ宇宙課程です。2週間ドイツに出張し、英語で宇宙の勉強をしました。宇宙には国境という概念がなく、宇宙領域把握は日本だけでは完結できません。他国の宇宙部隊の隊員と机を並べて勉強する中で、宇宙領域における多国間連携の重要性を学ぶとともに、宇宙幹部として勤務する上で高い英語能力が求められることを実感しました。



M3尉



インタビュアー

現在所属している第1宇宙作戦隊での業務について教えてくださいませんか？

私はSSAクルー長として、クルー員と共にシフト勤務をしています。業務内容は、「日本の人工衛星をはじめとした宇宙物体のモニタリング」です。JAXAをはじめとする関係機関や民間企業、また同盟国・同志国の宇宙部隊と日々協力しながら業務をしています。



M3尉



インタビュアー

最後に、航空自衛隊、宇宙作戦群をめざす方にメッセージをお願いします！

航空自衛隊における活躍の場は、空から宇宙へと広がっています。宇宙に興味がある方、新しいことに挑戦したい方は、ぜひ航空自衛隊、宇宙作戦群を目指していただけると嬉しいです。



M3尉

■採用・職種についての詳細は、こちらをご覧ください。